

令和2年度第5回地域福祉専門分科会 における主な意見と対応

No.	中間案 該当頁	ご意見	対応	答申案 該当頁
1	4	「適切な支援を受けることが犯罪を繰り返して～」→「～支援を受けることが「できず」犯罪を繰り返して～」ではないか【別途いただいたご意見】	文言を修正しました。	5
2	6	保護率の説明が必要では【別途いただいたご意見】	説明を追加しました。	7
3	12	子ども家庭応援センターの下「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」が一字下がっているのはなぜか。	機能の中身として記載しましたが、わかりづらいため削除しました。	14
4	12	「主な相談機関とネットワーク」について、ネットワークの会議名の記載は必要か。	「ネットワーク」から「関係機関の協議体」に記載を変更し、それぞれの会議の用語説明を追加しました。	14
5	12	ネットワークの「地域ケア会議」などの項目は市民にも知ってもらうべき言葉だと思うため、注釈をつけて残すべき。		
6	21	居住支援法人を正式名称の「住宅確保要配慮者居住支援法人」で表記したほうがよいのではないかな。	修正しました。	24
7	22	好事例を記載するのはよいが、少し頑張ったらできそうという内容がよいのではないかな。	「地域のさまざまな取り組みや」を追加しました。	25
8	23	町内会活動の枠組みにおける取り組みという印象を受けるが、町内会未加入者への対応についても検討していくという一文が必要ではないかな。	ご意見は市民局にも共有してまいります。	26
9	27	身近だからこそ相談できない場合もあるので、受け止める場所があることを示すこと、本人が困っていないが、周りが困っている場合の受け止め機能の充実についても言及が必要。	現状や課題に「さまざまな事情に柔軟に対応できる相談機能の充実が必要。」を追加しました。	31
10	28	★の重点事業について。庁内関係課の記述に、「福祉事務所を核とした検討」を追記できないか。	庁内関係課の前に「保健福祉センターをはじめとした」を追加しました。	32
11	30	「立ち上がる力」という表現に違和感がある。	表現を修正しました。	35

No.	中間案 該当頁	ご意見	対応	答申案 該当頁
12	31	自立相談支援の文言統一が必要。	文言を整理しました。	36
13	32	生活困窮自立支援のイメージ図内の「地域生活センター」とはなにか。	「地域包括支援センター」の誤りのため、修正しました。	38
14	32	上段の囲みの下に「★は重点」がない [別途いただいたご意見]	追加しました。	37
15	35	「現在の仙台市における成年後見制度にかかる体制」の図がわかりにくい。市民がどこに相談に行けばよいかわからない。もっと簡単に。	図は削除し、成年後見制度の利用のイメージの図や、主な相談窓口を記載するなど、わかりやすく修正しました。	39
16	40	「市保護司連絡協議会」→「市保護司会連絡協議会」 [別途いただいたご意見]	修正しました。	48
17	42	「修学」とあるが、ここでは「就学」ではないのか。 なお進級、卒業、復学等、学びの機会に関わる部分は、もう少し教育委員会とも調整してほしい。	「学び」に修正しました。 ご意見は教育委員会にも共有してまいります。	50
18	42	学校と地域が連携していくにあたり、司法、福祉、個人、家族の情報開示について、基準のすり合わせを進めてほしい。	個人情報の問題は難しいが、非常に重要なことであるため、教育委員会にも共有してまいります。	-
19	42	「地域での立ち直りを支える取り組みの推進」のところにコミュニティスクールは入らないという認識でよいのか。	コミュニティスクールはネットワークに関することとして、「支援へのつなぎと、息の長い支援のための連携促進」の事業に追加しました。	-
20	43	評価について。市や社協等の実績のほかに、地域の実態把握も必要。方法の検討が必要すべきでは。	細かい評価や進捗管理の方法は、今後、市社協とも調整しながら分科会で協議していきたいと考えている。	52
21	その他	巻末に用語解説が必要	資料編に追加しました。	-
22	その他	「障害者」と「障害のある方」と混在しているので整理が必要。	文言の整理を行いました。	-